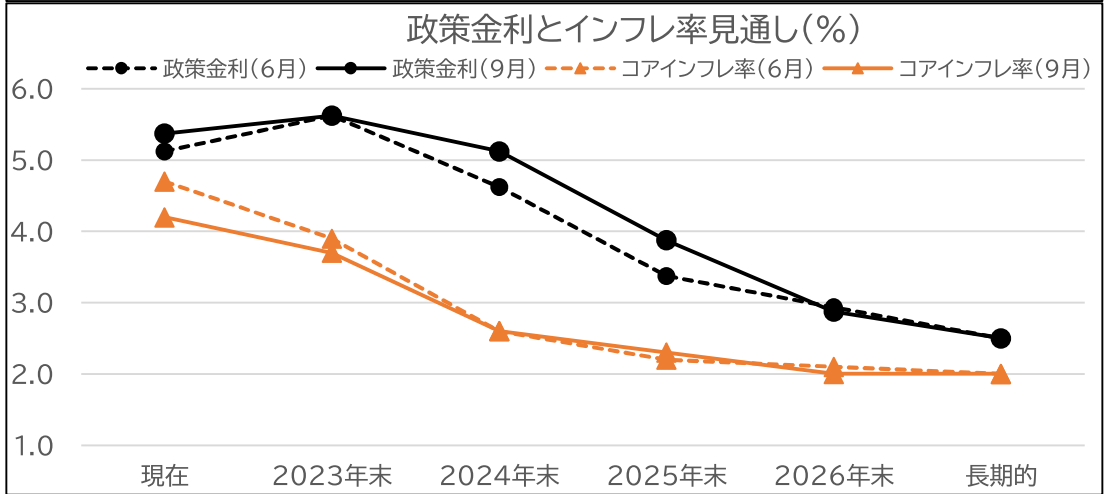
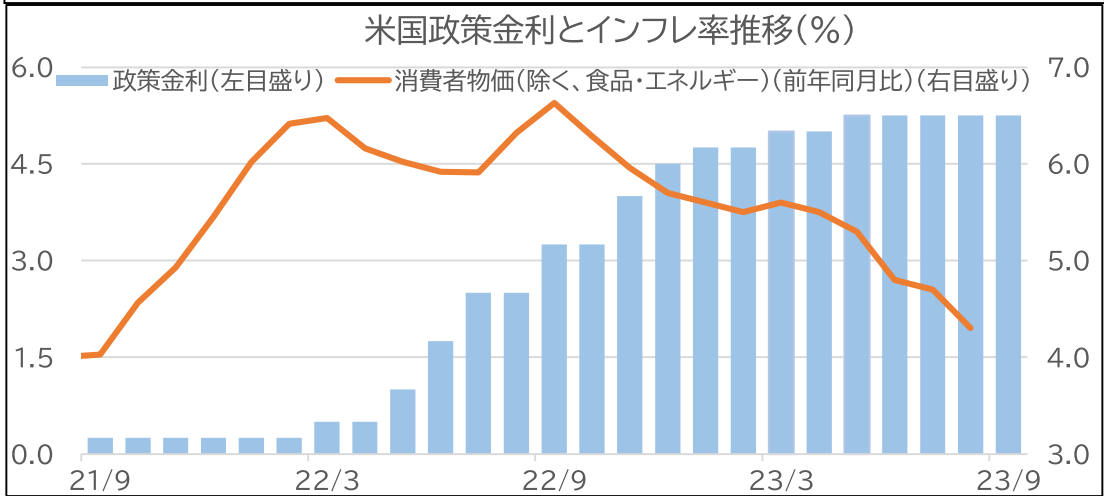


日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳
9 月米国 金融政策

2023/09/25 第 50 号
朝日田コーポレーション
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp
●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)FRB 資料より作成。

米連邦準備理事会(FRB)は、9月の会合にて政策金利を5.25%~5.50%に据え置くことを決定した。パウエル議長は声明文公表後の記者会見にて、米経済の堅調さに自信を示す一方、「インフレ率低下させるためにまだすべきことがある」と追加利上げを否定しなかった。一方、同時に発表された経済見通し(SEP)では、2023年末時点の政策金利予想は6月から変化がなく、年内にあと一回の利上げを実施する可能性が示唆された。加えて、2024年以降の見通しについては6月時点よりも引き上げられ、利下げ開始まではまだ距離があり、金融引締めが長期化する可能性が示唆された。米経済は屋台骨である個人消費が堅調に推移しており当面は底堅く推移する可能性が高いものの、雇用市場や住宅市場に陰りが見え始めている点には注意が必要である。